

# 松 楓

令和元年9月1日 発行

題字 故 井上知真元校長

43



水彩画「雨あがり」 24回卒 市川光男

## 埼玉県立飯能高等学校校歌

町田多加次 作詞  
鈴木宣彰 作曲

### 一、雲光る

仰ぎみる  
碧き多峯主  
眼差しさやか  
若き我らが  
生命燃えて  
高鳴る胸よ  
ここ飯能の  
学びの庭に  
友よいざ  
師とともに

### 二、夕靄の

縫いめぐる  
天地の間  
若き我らが  
入間の水に  
ああ流れゆく  
思念浮かべ  
星霜偲ぶ  
学びの園に  
友よいざ  
師とともに

### 三、大空は

暁のいろ  
陽はまた昇る  
武蔵野に  
哀歎揺れて  
若き我らが  
吹く朝風よ  
ああ嘯々と  
学びの窓に  
ここ飯能の  
友よいざ  
師とともに  
謳い歩まん  
青春の日を

昭和50年制定

## 100周年事業に総力を挙げて応援を

20回卒 会長 本橋 憲一郎

(飯能市在住)



会員の皆様には、同窓会の事業の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。昨年度は、計画いたしました事業は、ほぼ予定どおり実施することができました。これも偏りに、会員の皆様方のご協力の賜物と深く感謝いたします。

今年度は、新たな事業として、同窓会のホームページを8月下旬に開設いたしました。同窓会からのお知らせ事項や会報誌の内容、100周年記念事業に関する事項などを掲載するほか、会員に住所等の変更が生じた場合は、パソコンやスマホからの連絡をすることができるよういたしました。氏名や住所などが変更になった際は、このホ

ームページを活用し、是非とも連絡をしていただきますようお願いいたします。また、学校応援事業や周年記念事業など将来にわたって多額の費用を要する事業などが見込まれることから、新たに基金を設け、その資金として多少なりとも積み立てておくことといたしました。また、毎年の主な収入であります会費収入と事業費に事務費などの経常経費を合わせた支出額とがほぼ同程度であり、あまり余裕がないため、賛助金の受入れの窓口を設けることといたしました。この賛助金制度にもご賛同の上、

ご協力をいただければ幸甚に存じます。さて、飯能高校創立100周年記念事業実行委員会では、木川会長を中心に多くの役員の方々のご尽力により、着々と準備が進められておりますこと、誠に同慶に存じます。昨年度は、卒業生名簿を更新し、新たな名簿を作成していただきました。同窓会の長年の懸案でございました名簿の調査・整理をしていただき、新名簿が出来上がりましたことは、同窓会としても画期的な事であり、誠に有難く心から御礼を申し上げます。

今年度はいよいよ募金を開始されること。飯能高校にとりまして、また卒業生にとりまして、100周年記念事業を盛大に行うことができますよう、卒業生全員で応援し、盛り上げていきたいと思っております。同窓会会員の皆様方の絶大なるご協力を切にお願い申し上げます。今後とも、役員一同一致協力し、会員相互の友好と親睦が深められますよう、より一層努力して参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 魅力ある飯能高校を目指して

校長 岩澤 正明



同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動に對しまして御理解・御協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

また、100周年に向けては、木川一男会長のもと100周年実行委員会の各部会を中心に準備が進んでおりますことに、重ねてお礼申し上げます。特に、名簿部会で取り組まれ

ていた、懸案の卒業生名簿が整理され、今後の連絡等にも重要なツールを得たと思っております。学校といたしまして、今年度には校内組織を立ち上げ、実行委員会さんと協力し、100周年記念事業成功に向け進めていければと考えております。さて、私も本校校長として5年目、教員としての最終年を迎えました。最後まで気を緩めず頑張っていきたいと思っております。これまで、「復活」を合言葉に全職員一丸となって学

校づくりに努めてまいりましたが、その成果が少し見えてきたかと思っております。懸案だった生徒募集も本校志望者数が増加傾向となり、安定した倍率を確保できるようになってきました。昨年度は、1.26倍の志願者となり、入学したい学校と位置付けられてきたといってもよいのではないかと思います。今後は、さらに魅力ある学校づくりに努め、量的にはもちろんですが質的な向上を目指していきたいと考えています。昨年度から2年生のアドバンストクラスのうち1クラスを4年制大学希望者で固め、授業内容や意識の向上を図れるような環境整備をしました。すぐに成

果が現れるとは思いませんが御期待をいただければと思います。昨年度の進路結果では、一昨年のような突出した成果は出せませんでした。一般受検も含め例年並みの成果は出ております。入学時の生徒の学力を考えるとかなり頑張っていると思います。さらに、本校では、「1年生の英語検定全員受検」を実施しておりますが、昨年度は、3級以上の合格者が129名と前年度を大幅に上回りました。こうした資格取得が一つの目標となり頑張る糧になり、上位級取得によって、大学進学への道にもつながっています。

部活動では、昨年度、ホッケー部、弓道部の二つの部が全国大会へ、陸上競技部が関東大会へ出場し、弓道部女子個人では、インターハイ第6位に入賞することができました。本年度もホッケー部が関東大会で準優勝し、インターハイへ12年連続出場を決めました。他の部活動も着実に力をつけてきており学校にも元気が戻ってきた気がします。さて、現在教育界では、大学入試改革を含む高大接続改革、教員の働き方改革、民法改正による18歳成人問題など、多くの課題を抱えています。今後も同窓生の皆さんをはじめとした地域の方々のお力をお借りしながら、地域とともに歩む魅力ある飯能高校となるよう努めていきたいと思っております。

# 寄稿

## 追憶



高女14回卒 清水 すみ  
(飯能市在住)

尋常小学校6年間の義務教育を終えて、埼玉県立飯能高等女学校へ入学したのは、昭和15年4月です。昭和12年に勃発した日中戦争は長びき、世の中は次第に戦時体制へ向かって進んでいく最中でした。そして、遂に昭和16年に太平洋戦争へと突入していったのです。

当時、食料も徐々に厳しさを増していき、衣料を始め諸々の生活用品が値上がり、不足していくようになりました。

「ほしがりません、勝つまでは」資源の乏しい日本です。がまんと工夫で乗り越えようと考えたスローガンなのでしょう。

学校でも、校庭の一部を畑にしたり、お茶摘みの勤労奉仕に行ったり、戦地へ送る慰問袋を作ったり…。時局に協力しながら、先生方は学生の身分である授業を大切にしてくださいました。当時の先生方との授業風景をなつかしく思い出します。

この頃、NHKで作られた「国民歌謡」がラジオ放送され、耳にすることが多くなりました。国民の戦意を鼓舞するような歌が多い中、心に残っている歌を選んでみました。

### みたみわれ

歌 海犬養岡麻呂  
曲 山本芳樹

御民われ  
生けるしるしあり  
天地の  
栄ゆる時に  
あえらく思えば

この歌は、万葉集(巻六)に載っている歌です。昭和18年に大政翼賛会が曲を募集し「国民歌」として放送されました。何となく重々しい使命感に包まれ、姿勢を正して歌ったものです。更にこの歌は、この頃に作られた「愛国百人一首」にも載っています。

### 朝

詩 島崎藤村  
曲 小田信吾

朝はふたたびここにあり  
朝はわれらと共にあり  
埋もれよ眠り行けよ夢  
かくれよさらば小夜嵐

島崎藤村が明治の時代に作り、詩集「落梅集」に収められている詩です。美しい詩に力強い曲がさわやかで、国民歌謡として広く歌われていきました。今でもよく歌います。

私達が女学校を卒業したのは昭和19年3月です。モンペ姿で卒業証書を頂きました。本土空襲激化の直前です。



卒業式後正門にて



# 安全・安心の まちづくりに取り組む 山影 慎さんへの インタビュー

17回卒 山影 慎 (飯能市在住)

するように勧められて防犯活動をはじめましたので、それ以降35年間続けてきました。

Q どのような活動をなさってこられたのですか？

山影さん 朝夕の小学生の通学時に街頭に立って見守りすることや、不審者情報や振り込め詐欺などの情報をもとに青色パトカーで管内のパトロールを重点的に実施しています。

Q 子どもたちの見守り活動は、天気の良い日ばかりではないので大変でしょうか？

山影さん そうですね。どんな悪天候でも子どもたちが通学する日は必ず出るようにしています。今では、子どもたちの見守り活動をしなないと一日が始まらないという感じです。子どもたちの顔を見ると、元気が出ます。(笑)

Q 市内巡回は、いろいろなことがございますでしょうか？

山影さん 年金振り込みの日に金融機関をパトロールしたり、駐車場を巡回して車上荒らしをパトロールしたりしています。平成24年に市内のある地区で不審火が多発した際は、役員総出で夜間パトロールを実施しまし

た。また、お年寄りが集まるゲートボール場に向き、巧妙な詐欺などに遭わぬようチラシを配布して啓発を行ったこともありました。

Q これまでの防犯活動で特に記憶に残っていることはいまありますか？

山影さん 青色パトカーで市内を巡回中に、市役所先の裁判所前の交差点で信号待ちをしていたところ、前の車が青信号になっても出なかつたので車から降りて声をかけようとしたら、急発進して逃げるように去って行ったので不審に思い、後を追いかけていきました。すると、市内の業務スーパリーの駐車場に駐車して運転手は車内にそのま

まいましたので、車に近づき声を掛けようとしたら、心臓発作で苦しんでいました。すぐに110番して一命をとりとめたということもありました。長い間には、いろいろなことがありますがね。(笑)

Q 活動団体の役員も長いことなさつたのでしょうか？

山影さん 防犯協力会では、平成12年に副会長に、23年に会長に就任し、26年からは相談役を仰せつかっています。また、平成23年からは埼玉県防犯協会連合会理事も兼務しています。青色パトカーを県内でいち早く導入したのも私が会長をしていた時です。購入資金がなかったものですから、市内の大手の会社からご支援を頂戴して購入しました。

Q 子どもたちを巻き込む出来事が日々報道されていますが

山影さん 最近の子どもたちを巻き込む痛ましい事件や事故のニュースを聞くたびに怒りと何とも言えない悲しい気持ちになります。飯能では、そのような出来事がないのが幸いです。

Q 振り返ってみて感想や今後に向けてなど何かございますか？

山影さん 何といっても、子どもたちが大きくなって私を見かけたとき、「おじさん、こんにちは」と挨拶してくれるのが一番うれしいです。また、この度、「防犯荣誉金賞」を受賞

できましたのも、関係者をはじめ、周囲の皆様のご指導とご協力があつてのことですので、心から感謝し、今後も地域のパトロールなど安全・安心のまちづくりに微力ながら取り組んでいきたいと思っています。

「防犯荣誉金賞」を受賞されました山影慎さんを5月に訪問し、インタビューした模様を掲載いたしました。山影さんは、飯能高校在学当時、応援団長をしていらっしゃいました。現在は、飯能市内でデイスカウトショップ「大黒屋」を経営されており、中央区銀座に支店を出すまでに成長し繁栄されています。奥様は、飯能高校短距離のエースとして活躍されました(旧姓)真野祥子さんです。今は、多くの知人に囲まれます。奥様は、ご商売や地域貢献などでお忙しい中にも、お二人仲睦まじく幸せな日々を過ごしていらっしゃいました。

(K・M)

Q 防犯活動で全国表彰を受賞されたとお聞きしましたが？

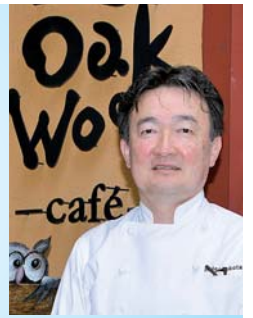
山影さん 昨年の9月に明治記念館で開催された「全国地域安全運動中央大会」で長年地域防犯活動に貢献したことが認められて「防犯荣誉金賞」を受賞いたしました。

Q その防犯活動は、いつ頃から始められたのですか？

山影さん 私が37歳の時に飯能警察署管内防犯協力会に入会



受賞会場にて奥様と



# こだわってモノをつくる 現代名工パティシエ 横田 秀夫シェフへの インタビュー

30 回卒 横田 秀夫 (春日部市在住)

「イシエ」と呼ばれますが、当時はまだ憧れの職業ではありませんでした。

① 数々のコンクールで賞をおとりになっていますが。

横田シェフ 27歳のころより3・4年、能力を試す場としてコンクールに出ました。当時から洋菓子の最高峰はフランスで、日本予選で賞に入り、世界大会に向け1年間準備をしました。日常の仕事を1日16時間労働の中、残った時間で準備をする日々でした。シャルルブルースト世界大会で準優勝したときは、苦労が報われたようで嬉しかったです。

② このお店「オークウッド」をはじめようとしたのは？

横田シェフ 都内のホテルで働いておりましたので、都会的で最先端のものを目指してきました。40歳の時そろそろ、気取らないナチュラルなものを求めたいと考えるようになり、45歳で店を開きました。その頃、都内に通っておりまして、住んでいたのがここ春日部でした。周りには自然が残っており、このテールも装飾品もすべて私の手づくりのものです。(笑)

③ 「現代の名工」そして「黄綬褒章」受賞おめでとうございます。

横田シェフ ありがとうございます。平成17年度、「現代の名工」に最年少者として46歳でいただきました。その年の受賞者に和食の道場六三郎氏もおいでになりました。昨年(平成30年)の秋、「黄綬褒章」(洋菓子製造工・卓越技能)をいただきました。お祝いの会場に飾った鷹と蛇のオブジェはチョコレートと飴でつくったもので、今お店に飾っております。

④ 仕事をされていて、一番嬉しかったことは？

横田シェフ 若い頃、世界大会に出場し、自分の満足のいく

ものができ、それが評価され認められた時です。そして今、日本の洋菓子業界は世界の五本指に入るほどに認められるようになりました。そこまでは先人の苦労や努力があり、それを引き継いでやってきました。そして今、後輩の辻口博啓氏や鎧塚俊彦氏などの活躍もあり、メディアに注目され、パティシエとしての職業が一般の方々にも浸透し子どもたちのあこがれの職業になったことです。

⑤ 飯能との縁はどうですか？

横田シェフ 同級生と毎年何人かで集まっていたのを飯能で行っています。何年かに一度の割りでクラス会も行っています。飯能高校には卒業後行ったこと

はありません。(笑)

⑥ 今、パティシエは人気の職業です。高校生の中にも目指す人がいます。その人たちに伝えたいことは？

横田シェフ 「こだわってモノをつくること」、「価値をどこに求めるか」、「自分の考えをしっかり持ち目の前の小さな目標を一つ一つ積み重ねること」等を考え、自分の遣り甲斐を感じるまで進んで行ってほしいと思います。



店内入口に飾ってあるオブジェ

5月31日に春日部にある菓子工房「オークウッド」に伺いました。緑に囲まれたメルヘンチックな外観のお店は、ケーキ屋さん併設のカフェがあり、オーナーである横田シェフのこだわりの手づくり感のあるすてきなお店でした。インタビューは開店の1時間前からあつという間の1時間。開店と同時に多くのお客さんが来店されました。この5月で還暦を迎えたというシェフの表情は、とても穏やかであり、気さくな方でした。楽しい会話の中で進むことができました。お忙しい中ありがとうございました。(K・S)

# 喜寿の祝

## 作文と読書



13回卒  
福田 昌孔  
(毛呂山町在住)

御代替りした今年は、母校を卒業してから58年になり、私は馬齢を重ねて喜寿を迎えた。

「高齢者になって活き活きしている人は、子供の頃やったことを続けている人が多い」と聞いた。それじゃあ私は「作文と読書」だと思った。但し、活き活きしているかどうか？ 自分では分からない。(笑)

今迄に随筆集を、7冊発行した。また、サラリーマンを卒業してから「MY方丈記」なる散文を書き続けている。第1部を「つれづれなるままに」として随筆、第2部を「読書感想文」としてまとめている。

既に11年間、上期下期と年2回発行しているから「パート23」となり、随筆388篇、読書感想文392篇、両方合わせ

て何と780篇も書き綴っている。

更に、町の長寿会文芸誌「ことぶき」に、毎月随筆を寄稿し、この8月で100回記念を迎える。

いずれにしても我ながら、随分書いたものだと感慨深い。

私は子供の頃「作文少年」と「読書少年」であった。思えば文芸少女であったらしい母親のDNAを引き継いでいる様であるが、それ以上に、学校時代に文学文芸に優れた先生方にご教導頂いたことが大きかった。

小学5年生〜6年生で、八木原光雄先生から「作文と読書と版画」を、中学3年間、毛呂山の与謝野晶子と云われた中井達子先生から「作文と読書感想文」を、更に高校では、沼部要先生から「文学文芸と弁論」の特別なご指導を受けた。

どうやら「作文と読書」は、後期高齢者になった私のライフワークの様だ。それも、この3人の恩師のお陰様で、今更感謝申し上げている次第である。

「本に囲まれた部屋を造りたい」が、私の子供の頃の夢であった。今、約1500冊の蔵書の書齋で、本稿を書いている・・・。

# 先輩・後輩

## 駅伝合宿の思い出



10回卒  
柏崎 勇治  
(飯能市在住)

80年前隣の旧原市場村に生まれ赤沢小原市場中を経て昭和30年4月飯高に入学しました。当時飯高は1学年200名4組

で男子は1組の50名でしたので殆どどの男子は半強制的に体育系の部に入学させられました。私は中学で野球をやっていました。が硬球での野球はなじめないと

思い、走ることが好きだった陸上部へ入部しました。その陸上部ですが決して強い部とは言えませんでした。私は長距離を走ることが好きだったので1年の時から長距離走や駅伝の練習に力を注いでいました。そこで出会ったのが体育系の中村校長と九州から赴任された末永先生でした。このお二人の恩師が現在の飯高のスポーツを盛んにした基礎を作ったと言っても過言ではないでしょう。特に長距離部門は1年の時

から九州男児の末永先生から厳しい指導の毎日でした。そして年が明け正月の冬休みチームワークと選手強化のため合宿が行なわれました。皆んなはじめてのこととで本人家族も驚きました。60

年以上前のことですから合宿設備もなく全員自宅から寝具を持ち込みました。現在と違い物流機能もなく各自親や親戚に依頼し運びました。末永先生と顧問の大野俊平先生宅には我々がリヤカーで伺い運んだことが何よりの思い出です。合宿練習の結果選手一人一人の意識も変わりメキメキ記録が向上しました。その成果が出たのはその年の奥武蔵駅伝でした。前年迄は飯高が通過すれば今年の大会は終了と迄言われていたそうです。ところがこの年高校の部で6位に入賞しました。その時の選手は中野、箕輪、平沼、中村、石井の各氏と私でマネージャーは土屋氏でした。その後私は末永先生の指導のもと3年の時青森〜東京駅伝に埼玉代表に選ばれ出場することが出来ました。又卒業後は実業団で陸上部のある三越に入社し早朝と夜の厳しい練習で各種大会に10数年間出場しました。これが現在の健康維持に繋がっているものと思いい感謝しております。

# 黄金千両モチの木の下



15回卒  
中藤 栄岳  
(飯能市在住)

朝日照る照る夕日は沈む。黄金千両モチの木の下。日本各地に伝わる埋蔵金の歌である。

我が飯能中山にも昔からこの歌が伝わり、昭和30年ごろまで、酒席で古老が謳っていた。私が見たのは、杯を2本の箸で器用に動かす、徳利の上に歌と共に押し上げるという妙技であった。座がどよめいた。その後、この芸をする人を見たことがない。

徳川埋蔵金とかで時折テレビを賑わせているが、中山にも埋蔵金伝説があったのだ。

少なくとも、昭和初期のころは、殿様のお宝探しの村人がいた。ロマンだねえ。

ロマンといえば、飯能は、羅漢山(天覧山)が西に、北には、蓬萊山、飯高裏は、鶴舞とめでたい地名が並び観音様、葉師様をはじめ多くの神様を祀る珍しい土地である。ちなみに飯高グラウンドの北には蛮神様が中山堀の川の神である。ありがたいねえ。

### 思い出と今の私



20 回卒  
吉田 久  
(飯能市在住)

しかし、昔の若者には神をも恐れぬ跳ねつ返りもあり、酒を飲み住職が不在の本堂に入り鐘、太鼓をジャンジャンドンドンと、打ち鳴らし、裸踊りを踊った悪たれがいる。村役人あて詫び状を書き、今、智観寺に残る。文政13年春のことで、この文書には続きがある。住職不在で村役が取りなし罪にはされず人名は削除された。情けがあるねえ。

加えてこの頃の祝い酒の飲み方は、一斗樽を無礼講で村民に振る舞うのが掟、夜を徹して飲み、婚礼の婚殿は下手をすると朝までつかまり酷い目に合わされたとか。

フツツ腹な時代だったんだねえ。

飯能という町は、太陽が燦々とふりそそぎ山陰に夕日が沈むまで平和で楽しい土地なんだ。丹治家、加治家、中山家、黒田家の庇護の元、天領となってもこの気質は変わらず、人々は、和やかに仕事と生活を謳歌したんだ。

こんなお宝、何処にある。



いていたのを見ていたのでおぼろげながら知っていましたが、私にとっては未知のスポーツでした。当時はまだ道場はなく校庭の端に畳を立て掛けた簡易な土安土(あづち)を作り練習をしました。1年生の半ば(私の記憶が定かではありませんが)に顧問の先生方、諸先輩をはじめ多くの方々のお力で、部への昇格と弓道場設置が決まり道場作りが始まりました。

敷地は石とコンクリートの廃材が埋まっている荒地、部員総出で汗を流しながら整地作業をしました。そんな経過を経て新弓道場ができ、大勢の関係者が出席して、道場開きが開かれたことを思い出されます。

卒業後大学に進学し、飯能市内の通信系の製造会社に就職し、主に特殊機械の開発・製造の業務に42年間携わり64歳で現役を退きました。現在は、縁あって飯能市東吾野地区にある、緑と清流に囲まれたレジャー農園、たいら栗園(お食事処・バーベキュー・栗ひろいなどの収穫体験)で、何でも屋として汗を流しております。お陰さまで多くの分野の方々と知り合う機会ができ、私の大きな財産になっております。

また、吾野まちづくり推進委員会、観光協会、などのメン

バーの一員として微力ながら地域活性化に貢献したいと活動しております。

### 卓球部から得たもの



25 回卒  
中里 敏男  
(飯能市在住)

昭和47年3月の卒業以来、47年が過ぎましたが、毎日の通勤で飯能高校の前を通っていたため、そういった意味では学校は身近なものでした。

振り返ってみますと、在校中は卓球部に所属して活動をしていました。当時の卓球部は、県大会には行きますが、成績は上位というレベルではありませんでした。しかしながら、先輩・後輩の方には関東大会や全国大会に出場した方もいました。

当時、1年生部員は私を含め8名加入しましたが、その夏休みまでに5名が退部し、男子は、私ひとり、女子は2名となり団体戦は出られないような状況でした。その後も学年で一人ということもあり、2年生の秋からは男女共のキャプテンとなり部活動を続けていましたが、一つ下の学年

も部員一人で個人戦には出られずとも団体戦には出られませんでした。このままでは部活がなくなってしまうという危機感があり、私が3年生になった時は、顧問やコーチ、OBに相談をして新入生の入部獲得に動き7名が入部し、そこからは団体戦にも出場できることとなり、その後も出場できていましたが、このこと以外にも部員が辞めてしまうなど、取り組まなければならぬ問題が多々ありました。

この時のことは、事情はともあれ色々やるしかないと思ひ、部員の数が少ないことや練習時間の問題(休日の練習は1日練習で、部活の休みは、年間を通して10日ほど)、先輩の方も多く練習に来て頂いた状況での上下関係や部員同士の調整など、キャプテンとしての課題解決に向けて積極的に取り組んでまいりました。その結果、部活動はよい方向に向かい、部員も辞めることなく進めることができました。

このようなリスクマネジメント的なことを、高校時代に経験したことによって、自分の財産となりその後の卓球関係(現在、飯能市卓球連盟副会長)や仕事(市役所、自治会活動など大いに生かされ、今の自分があると思っております。

### 飯能市役所に入庁して



30回卒  
田中 誠志  
(飯能市在住)

くださったのには感激いたしました。

昭和34年9月に飯能市東町に生まれました。飯能第一小学校、飯能第一中学校を経て飯能高校に入学いたしました。母親も飯能高等女学校を卒業しており、通学も近くて便利であるというぐらいの動機でした。

昭和53年4月に飯能市役所に入庁いたしました。志望した動機としてはやはり、通勤も近く、公務員は堅い職業だからという親の助言もあったという覚えがあります。

ここから飯能高校卒業の先輩、同期、後輩との繋がりが始まります。

### 高校時代の思い出



35回卒  
矢島幸一郎  
(飯能市在住)

入庁して間もなく、野球部に入部いたしました。野球の経験は中学校までしかなく、技術も下手でしたが、先輩から、「野球を通して仲間づくりができるのがよいことなんだよ」というアドバイスを受け、野球部の活動を続けることができました。特に、シーズンオフに行った旅行の思い出は、強く印象に残っています。

野球部は、飯能市野球連盟に加盟しています。連盟で審判員が不足しているので、市役所からも出してもらいたいということで、審判員として登録して活動が始まりました。その後、東京新大学野球連盟、埼玉県野球協会審判員としても活動しています。ここでも先輩にお世話になっています。

飯能市役所の職員に占める飯能高校卒業生の割合は一番多いと思います。それらの方々に感謝しながら、あと数ヶ月余りとなってきました公務員生活に精進してまいります。

### 高校生活の思い出



40回卒  
井上 信一  
(人間市在住)

私が高校に入学した1980年は、デジタルウォッチが流行し、テクノポップが浸透し始め、初代ウォークマンが発売されたデジタル時代の幕開けの年。松田聖子がデビューした80年代アイドルの初期で、時代が一気に加速し始めた頃でした。そんな私の部活動は弓道部で、週末は一日道場です。過ごすアナログ的な日々を送っていました。昼食時といえば丸パン。特にコッペスペシャルが大人気で、すぐに売り切れてしまった事を思い出します。文化祭、体育祭、球技大会の後は、教室でコンソメパンチ味のポテトチップとチェリオのジュースで打ち上げするのも定番でした。2年生になると、横浜銀蠅の全盛期。男子のズボンに幅広のボンタンやドカン。女子は丈長スカートの時代です。少し前まで日テレで「今日から俺は!」というドラマをやっていたんですが、当時はあのような制服の高校生も一部にはいましたね。女子の髪型と言えば一巻きカールの聖子ちゃんカットが当

たり前の時代です。しかし、高校時代の一番の衝撃的な思い出は、修学旅行中での食中毒の発生です。山口、広島、岡山を巡る5日間の旅程でしたが、3日目のドライブインで食べた昼食で食中毒が発生し、自分のクラスは7〜8人、他のクラスでは30人くらいが食中毒となっていました。NHKの夜7時のトップニュースになったという苦い思い出がありました。

気がつけば、高校を卒業して36年が経ち、周囲からは孫の話も聞こえるようになってきました。飯能で生まれ育った私は、現在、理科学機器メーカーで医用機器事業の管理に従事しております。二人の子どもも成人し、10年間続けた少年サッカーのコーチも引退して、今はサッカー観戦や神社を巡って御朱印集めを楽しんだりする週末を送っています。



飯高への入学が決まった中学3年生の時、飯高生はトレーナーを裏返しに着ていると学校内で噂になった。そんな格好するのは嫌だなと思っていたが、入学するとただの噂とわかりほっとした記憶がある。

入学前の春休みにバスケット部の練習を友人と見学に体育館へ行き、たまたま合宿中であったバスケット部の練習を見た。練習内容は中学校の内容とは量、質ともにケタ違いであった。また、連絡もせず勝手に見学に来た中学生に、合宿所の中へ入れてくれて練習内容の説明や部員の紹介等をしてもらった。その接し方に高校生がすごく大人に感じられた。自分が入部して、そんな接し方が出来るかと不安にもなった。

今回、同級生から寄稿のお話を頂き、当時を回想する良い機会を与えてくれた事を深く感謝し、これからも飯高を応援して参ります。

### 高校生活の思い出



40回卒  
井上 信一  
(人間市在住)

飯高への入学が決まった中学3年生の時、飯高生はトレーナーを裏返しに着ていると学校内で噂になった。そんな格好するのは嫌だなと思っていたが、入学するとただの噂とわかりほっとした記憶がある。

入学前の春休みにバスケット部の練習を友人と見学に体育館へ行き、たまたま合宿中であったバスケット部の練習を見た。練習内容は中学校の内容とは量、質ともにケタ違いであった。また、連絡もせず勝手に見学に来た中学生に、合宿所の中へ入れてくれて練習内容の説明や部員の紹介等をしてもらった。その接し方に高校生がすごく大人に感じられた。自分が入部して、そんな接し方が出来るかと不安にもなった。

今回、同級生から寄稿のお話を頂き、当時を回想する良い機会を与えてくれた事を深く感謝し、これからも飯高を応援して参ります。





の意味は解るが何を指しているかわからないため、クビをかきあげていると「トイレレットペーパーだよ」と言われ理解できた。トイレレットペーパーをペーパー、救急箱をナースと呼ぶなど、独特な呼び方も、高校生だなあと思った。

同じ中学出身で野球部に入部した友人と校舎内の階段を歩いていると前方に坊主頭の3年生らしき先輩を発見。友人に「挨拶しないで怒られるよりは挨拶したほうがいいんじゃない」と急かすと友人が大きな声で挨拶。挨拶された先輩は苦笑いで教室へ。後で判ったがバレー部の先輩だった。

この原稿の依頼を受けてから、忘れかけていた記憶から掘り起こし、何とか書いてみたが、入学当時の事だけで埋まってしまった。ここには書ききれない程の想い出がいっぱいあったなと思う。卒業して約30年、体育館や学食が建て替えられてはいるが、今後未永くそれぞれの生徒に想い出作りをして欲しいものだ。「緑ジャージ、万歳!!」である。



### 私の夢と子ども達



45回卒  
鈴木 純子  
(北本市在住)

飯能高校を卒業して、20数年。今、私にはちよつとした夢があります。それは、私が保護者として飯能高校を訪れることと、子ども達の夢が叶うことです。私の子ども達は、「日本代表」という夢を持ち、ホッケーの練習に日々励んでいます。今や、インターハイの常連校となった飯能高校ホッケー部への入部を希望しています。私も高校時代は、ホッケー部に所属し、厳しい練習をしていましたが、なかなか勝つことのできない弱小チームでした。それでも、信頼できる仲間と指導者に恵まれ、夢中でホッケーをやっていた時代は、私の中で一番輝く思い出となりました。あの頃は、高校を卒業してからホッケーを続けてゆく選択肢も少なかったことと、私の強い気持ちに足りず、いつの間にかホッケーから遠ざかってしまっていたのですが、息子が小3の頃、野球やサッカーになじめなかったので、ホッケーを体験させてみることにしました。やってみるとすぐに「ホッケーや

りたい」とめずらしく自分から言ってきました。練習場の阿須までは、現在住んでいる北本市から片道1時間ちよつとの道のり。通うのに少し時間がかかるので迷いましたが、小1の娘と一緒にホッケーをはじめさせることにしました。私の先輩や後輩に指導してもらい生き生きとする子ども達の姿を見ることができたので、通うことは私にとつても、すぐに楽しみとなりました。そして、息子中3、娘中1となった今もホッケーを続けています。試合や練習に行くとい生懸命な子ども達からはいつも、感動や元気をもらうことができます。だから私も、送迎をがんばれるのです。子ども達のお陰で、またホッケーに関わることができ、懐かしい方達とも再会することもできました。そしてまた、飯能高校にも行くことができるかもしれない。子ども達には、感謝です。そして、子ども達にも仲間という宝物を手に入れていってほしいです。

### 走り続けた高校生活



50回卒  
染谷 厚  
(飯能市在住)

飯能高校を卒業しあつと言う間に時は経ち、年齢は40歳を迎えようとしています。年号が平成から令和へと変わり、あの宮沢湖がお洒落なテーマパークに変わった中、私の気持ちは変わらず若いままでありますが、体が気持ちに付いていかないと感じている今日この頃です。

高校時代を振り返ってみると、3年間とにかく走り続けたという思い出しがありません。高校から陸上競技の長距離を始めた私は、部活の練習にまったく付いていくことができませんでした。マメだらけの足、貧血に悩まされ、とにかく練習が苦しくていつやめてしまおうかと思いつけていました。そんな気持ちの中で走り続けてこられたのは、顧問の先生、先輩や同級生に背中を押され、声を掛けられ、少しでも前へと私を突き動かし、支えてくれたおかげだと思えます。このことで私の中に、「次の練習ではもう1周みんなについて行けるように頑張ろう」と一歩一歩前へと進んで行こうという気持ちが芽生えました。継続して走り続ける中で、苦しいことはかりではなく、努力していくことで目標の達成という結果が付いてくる喜びもありました。また、記録が出ずに思い悩む日々や、大会に出るため

### ホッケーとの出会い



55回卒  
森 七恵  
(秩父市在住)

飯能高校に入学してから約20年。私のホッケー人生はそこから始まりました。

私が飯能高校に入学した動機は「ホッケーがやりたい」という理由でした。当時、姉が既に飯能高校に在籍しておりホッケー部に所属していました。今やインターハイの常連校ですが、その頃は何十年ぶりのインターハイ出

場という事で大型バスでの応援ツアーに行ったことを覚えていません。初めて見るホッケーの速いパス回しやドリブルに魅了され、絶対に飯能高校に入ってホッケーをやるのだと意気込んだのは、懐かしい思い出です。

そんな高校生活3年間はホッケー漬けの毎日でした。他の友人たちがバイトをしたり、自由に遊びに行ったりする中、私は自分の自由になる時間など無く、家と学校とグラウンドの往復でした。辛いことは沢山ありましたが、良い仲間にも恵まれ、励まし支え合いながらチームとして成長することの大切さを学びました。ホッケー部の同級生は今でも仲の良い友人ですし、私の人生においてかけがえのない宝物です。この時の経験があるからこそ、今の充実した自分がいるのだと思っています。

高校卒業後も大学でホッケーを続け、社会人となった現在も飯能市のチームであるHFC・HANNOで選手をしています。最近では人との輪が広がり、市内の中学生を指導する機会をいただきました。一人でも多くの子供たちにホッケーの楽しさを通して、人との関わり大切さ、仲間の大切さを伝えて行きたいです。その中で高校、大学、社会人とホッケー

ーを続けてくれる子供たちが増えたらいなと思っています。私と同じようにホッケーの楽しさや、魅力に引き付けられ、そこから始まる人と人との繋がりと輪がもつともつと広がることを願っています。

最後になりますが、飯能高校在籍中にお世話になった方々に感謝の意を表すとともに、在校生の皆さんが3年間充実した高校生活を送れます事、これからの母校の益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

### 分岐点



65回卒  
岩間 涼太  
(愛知県牧市在住)

飯能高校在学中は実に様々な出会いがあった。クラスの友達、部活動の仲間、中でも私の人生を最も決定づけたのは恩師との出会い、そして英語との出会いだった。私は2年生の春まで特に目的意識を持たず、漫然と過ごしていた。そんな生活は、私が髪の毛を染めて部活動に参加し、幸運にも同じ体育館でコーチをしていた英語科の坂先生に見つかった瞬間に幕を閉じた。

頭髪指導の際、私は英語の進学補講に誘われた。これが私の人生のターニングポイントとなることは当時知る由もなかった。その日から私は使える時間をすべて英語の勉強、特に英検対策に注いだ。英検の試験日の数週間前には、坂先生に携帯電話を預け試験対策に取り組んでいた。もう1年早く坂先生に出会っていたらどうなっていたのかは推測の域を出ないが、もし出会うのが1年遅かったら今の私は無かった。

卒業後は大学の教育学部英語英文学科に入り、字幕翻訳を学ぶなど自分の好きなことに取り組んだが、英語という核だけはぶれなかった。その英語のおかげで、現在は国家公務員として英語関係の仕事に就いている。現在の主な業務は英語教育であり、日々楽しい授業をするために研究している。飯能高校卒業から現在に至るまで、私が出会った人々は英語をやっていなければ決して出会うことのなかった人たちだ。そしてこれから出会うすべての人も同様であり、このような出合いを可能にしてくれた母校には大変感謝している。在学生の皆さんも、周りを気にせず自分のやりたいことを見つけてとことん取り組んでみてください。きっとあなたの人生を形作る大き

な武器になり、これからの人生においてきっと良い出会いをもたらしてくれるでしょう。ぜひ飯能高校での3年間を有意義に過ごしてください。

### チアと共に



70回卒  
伊関 玲  
(所沢市在住)

私は高校時代チアダンス部に所属していました。目標に向かいみんなで切磋琢磨した日々、みんなで涙を流した日々、みんなで喜びあった日々、チアダンス部は私の高校生活を充実したものにしてくれました。特に一番の思い出は、アメリカ大会に出場できたことです。結果は準優勝でしたが、日本とは違う大会の空気感、アメリカチームの演技、そして現地の方との交流など、日本国内では感じることのできない特別な日々が私たちの成長につながるとも大きなものとなりました。皆様方のご支援によりこの貴重な経験をさせていただくことができました。本当にありがとうございます。

メリカ遠征で影響を受け、語学の勉強や国際交流を積極的に行っています。そしてコーチが代表を務めるドリウムワンダーランドというチームに所属しチアを続けています。昨年10月にオリピックにつながる第1回世界大会に日本代表として出場させていただきました。国を越え応援し合いました。お互いを讃えあつたことがとても印象に残っており、改めてチアの素晴らしさを感じました。私は小学生の時チアを習いはじめ、飯能高校の演技を見て絶対この学校で部活動がやりたいと思えました。素敵なコーチをはじめ、携わった全ての方々のおかげで現在の私があります。私と共にある大好きなチアで世界とつながり、チアをもっと広く知られるスポーツにしたいです。高校3年生の文化祭、同期13人での最後のダンスはいきものがかりの「心の花を咲かせよう」という曲で、コーチが私たちのために振り付けをしてくださいます。私はこの曲の歌詞が大好きです。これからの人生、壁にぶつかることもあると思います。その時にはこの曲を聴き、高校時代を思い出し、乗り越えていけるように心の花を大切に、歩んで行きたいと思っています。

### 会長あいさつ



4 回 卒  
会 長  
木川 一男  
(飯能市在住)

平成から令和へ元号が変わりま  
したが、令和の時代になってもこ  
れまでの飯能高校の伝統と歴史を

## 100周年記念事業 今後の動き

元年度は、卒業生の皆様に寄付を  
お願いするとともに、記念事業予  
算や記念事業の具体的な内容につ  
いて検討を始めたいと思います。  
そして、創立100周年を迎える

引き継いでいただき、  
教職員、生徒の皆さん  
のご活躍により飯能高  
校のさらなる発展を期  
待したいと思えます。  
さて、令和4年度に  
創立100周年記念事  
業を実施する計画で実  
行委員会では準備を進  
めており、昨年度は、  
卒業生名簿を作成す  
るとともに、記念事業  
費の確保のために寄付  
募集について検討を行  
いました。また、県内の  
高校の周年事業を参  
考にするため、松山高  
校、鴻巣高校、川越高  
校を視察しました。

平成31年度・令和

ことを一人でも多くの卒業生にお  
知らせするために、情報発信に取  
り組んでまいりたいと思えますの  
で引き続きご支援いただきますよ  
うお願いいたします。

なお、本年度に実施する募金事  
業について皆様のご理解、ご協力  
をいただきますよう重ねてお願い  
申し上げます。

### 100周年記念事業 募金についてのお願

飯能高等学校は、1922年(大  
正11年)5月11日に飯能町外9ヶ  
村学校組合立飯能実科高等女学  
校として創立されて以来、193  
0年(昭和5年)に埼玉県立高等  
女学校に、1948年(昭和23年)  
に埼玉県立飯能女子高等学校に、  
翌年に共学となり、現在の埼玉県  
立飯能高等学校に至っており、2  
022年をもって創立100周年  
を迎えることとなりました。その  
間、今日までの卒業生は、約2万  
7千人を数え、県内外の様々な分  
野で活躍し、社会に貢献されてお  
ります。

また、在校生においては、目指  
す学校像「地域に根ざし、高い志  
を持ち、社会に貢献できる生徒を  
育む」をモットーに、勉学や部活  
動に励んでおります。近年は、進  
学面でも難関大学の合格を果たし  
ており、さらに高校生活のもう一つ  
の柱である部活動では、多くの部  
がインターハイなどに出場し、立

派な功績を残しております。

魅力ある飯能高等学校であり  
続けるため、関係各位の方々へ広  
く資金を募らせていただきました。  
「埼玉県立飯能高等学校100周  
年記念事業募金」をお願い申し上  
げる次第です。

- (募金名称)  
埼玉県立飯能高等学校100周年  
記念事業募金
- (募金目的)  
創立100周年記念事業を実施  
(記念事業)  
・ 飯能高等学校応援事業  
・ 名簿作成事業  
・ 記念誌作成事業  
・ 祝賀会・イベント開催事業等
- (募金目標額) 5千万円
- (募金額)  
1口5千円(できましたら2口以  
上の募金をお願いいたします。)
- (募集期間)  
令和元年9月1日から令和2年3  
月31日まで
- (募金取扱金融機関)  
・ 飯能信用金庫  
・ 埼玉りそな銀行  
・ ゆうちょ銀行

(募金協力者の特典)  
募金にご協力いただいた方には、  
記念事業のご案内及び同窓会会報  
誌「松楓」を5年間毎年贈呈いた  
します。

募金の詳細につきましては、同  
窓会会員の皆様に募金趣意書等

を送付させていただきますので、  
ご覧いただきますようお願いいた  
します。

### 記念事業の提案を募集

実行委員会では、100周年記  
念事業に加えてほしい事業提案を  
募集しております。ご希望の方は、  
次の要領で応募してくださいませ  
ようお願いいたします。

#### 提案内容

100周年記念事業にふさわしい  
内容とし、事業の概要がわかり易  
いようにご提案ください。

#### 応募期間

令和元年9月1日から令和2年9  
月30日まで

#### 応募方法

提案内容を記載した書面により、  
下記までお送りください。

宛先 飯能高等学校100周年  
記念事業実行委員会  
住所 〒357-0032  
飯能市本町17-13  
飯能高等学校内

### お知らせ

\*飯能高校同窓会ホームページに、  
100周年記念事業に関する  
記事が掲載されています。ぜひ  
ご覧ください。

\*募金にご協力いただける方へ  
振込用紙が必要な方は、ご連絡  
いただければ郵送いたします。  
連絡先  
実行委員長 本橋憲一郎  
(09024504799)  
総務部会長 中里 敏男  
(09088763955)

### 平成31年度・令和元年度 飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 予算

収入の部 単位：円

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
寄付金	10,000,000	10,000,000	0	寄付金
譲与金	—	9,000,000	△9,000,000	廃目
繰越金	4,419,351	472,433	3,946,918	前年度繰越金
雑収入	649	7,567	△6,918	預金利子ほか
合計	14,420,000	19,480,000	△5,060,000	

支出の部 単位：円

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
会議費	460,000	580,000	△120,000	総会費、役員 会費、部会費
事業費	1,000,000	4,550,000	△3,550,000	記念誌編集ア ドバイス料等
寄付募集費	3,500,000	220,000	3,280,000	募金趣意書印刷 送業務委託料等
事務費	200,000	70,000	130,000	印刷費、郵送 料、消耗品
会報誌定期 購読交付金	16,000	—	16,000	同窓会へ交付
雑費	20,000	20,000	0	
借入金返済費	—	1,000,000	△1,000,000	廃目
予備費	9,224,000	13,040,000	△3,816,000	
合計	14,420,000	19,480,000	△5,060,000	

平成31年度・令和元年度 飯能高等学校同窓会 予算

自 平成31年 4月1日 至 令和2年 3月31日

Table with 5 columns: 科目, 本年度, 前年度, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 繰越金, 会報定期購読収入, 賛助金, 雑収入, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 本年度, 前年度, 比較増減, 摘要. Rows include 会議室, 総会費, 印刷費, 通信費, 会報発行・発送費, 慶弔費, 事務費, 事業費, 研修費, ホームページ費, 積立金, 予備費, 合計.

定期購読料年度別配分表

単位：円

Table with 11 columns: 区分, 年度, 人数, 収入金額, H28, H29, H30, R元, R2, R3, R4, R5. Rows include years 28, 29, 30, 31, and a total row.

上記のとおり提案いたします。令和元年 6月1日

埼玉県立飯能高等学校同窓会 会長 本橋 憲一郎

平成30年度 飯能高等学校同窓会 収支決算書

自 平成30年 4月1日 至 平成31年 3月31日

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 収入済額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 繰越金, 会報定期購読収入, 雑収入, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 支出済額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議室, 総会費, 印刷費, 通信費, 会報発行・発送費, 慶弔費, 事務費, 事業費, 研修費, 予備費, 合計.

収入合計2,672,328円 - 支出合計1,106,487円 = 1,565,841円(平成31年度へ繰越し)

【財産目録】

普通預金 1,565,841円

上記のとおり報告いたします。令和元年 6月1日

埼玉県立飯能高等学校同窓会 会長 本橋憲一郎, 会計 新井茂, 若林淳子

上記監査の結果 正当と認めます。平成31年 4月23日

埼玉県立飯能高等学校同窓会 監事 原島 稔久, 監事 鯨井 暢

承認されました。また、会則の一部改正も承認されました。... 佐野幹事の司会進行により、澤田副会長の開会の言葉で始まりました。...

平成31年度 令和元年度 総会報告

28回卒 細田 宏子 (飯能市在住)

令和元年6月1日(土) 新緑豊かな清河園において、飯能高校同窓会定期総会が開催されました。(41名参加)

飯能高校からは、岩澤校長先生、新しく着任された矢島教頭先生、細谷事務室長、卒業生でもある大野先生にご参加いただきました。

続いて、岩澤校長先生から活躍する運動部(弓道部・陸上競技部・ホッケー部など)や成績の伸び・入試の倍率の紹介があり、創立100周年に向けて努力していきたいとお話でした。



創立100周年記念事業実行委員会からは、記念事業を行った高校の視察・寄付金募集・記念誌・名簿作成などの活動報告がありました。今年度の研修会は、10月17日(木)に箱根方面を予定しているとのことです。総会終了後は、新野副会長の司会により和やかに懇親会が進められました。先輩後輩が年代を越えて懐かしい話に花が咲くのは、同窓というつながりがあるからだと思えました。また、喜寿を迎えられた13回卒の5名の方々に本橋会長から記念品を贈呈してお祝いしました。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

### 事務局からのお知らせ

#### ホームページを開設

同窓会のホームページを8月26日に開設しました。パソコン又はスマホから「飯能高校同窓会」で検索しますと、ご覧いただくことができます。是非とも、多くの方にご覧いただけますように。

#### 住所等変更届

住所、氏名等が変更になったときは、事務局までご連絡をお願いいたします。

\*連絡先 事務局幹事

豊田 美子

住所 飯能市大字双柳480-5

携帯 09078479612

FAX 042-971-2912

#### 次回 同窓会総会

令和2年6月6日(土)

### 平成31年度・令和元年度 研修会参加者募集

同窓会研修会を、次のとおり計画しております。ふるってご参加ください。

日時 令和元年10月17日(木)

午前7時55分飯能駅

(南口) 集合

会費 7,000円(当日集金)

訪問先 箱根方面

行程 飯能駅(南口) 8時発

箱根美術館・遊覧船

飯能駅(南口) 18時着

予定

※天候や交通事情等により行程または時間に変更になる場合がありますのでご了承ください。

※お誘い合わせのうえ、電話またはメールで9月末日までにお申し込みください。

#### 申込先

市川 光男

〒357-0031

飯能市山手町25-13

電話・ファクス 042-974-0365

携帯 09044530845

メール icchy@ozzio.jp

#### 「松楓」

#### 定期購読について

飯能高校同窓会では、卒業した同窓生の様子や学校の近況を、なるべく多くの会員の方々に知っていただきたく、毎年会報「松楓」を発行しております。

「松楓」の発行や発送の経費は、同窓会の会費で賄っております。創立100周年が迫るなか、一人でも多くの方々に「松楓」を読んでもいただきたいと思います。つきましては、会員の皆様には、是非「松楓」の定期購読をお願いいたします。特に、常任理事、理事の方々には、定期購読の趣旨を理解していただき、率先して定期購読のお申し込みをしていただければ幸いです。

なお、100周年記念事業へ寄付をしていただいた方には、自動的に5年間「松楓」を送付いたします。

定期購読は、1,000円で5年間、「松楓」を発送します。ご希望の方は、副会長都築(☎042・972・2257)までご連絡ください。

#### 会報発行委員を募集

会報発行委員を募集しています。

会報誌「松楓」は、毎年1回9月に発行しています。会報発行委員を中心に役員全員で協力しながら編集作業を行っています。編集作業は、編集方針を相談し、原稿を依頼したり、インタビューをして記事をまとめた上で、読者に楽しんでいただけるように工夫しながら取り組んでいます。

毎年1月頃から9月に発行するまでの期間、月1回程度の編集会議を積み重ねて発行に至っています。編集作業を進める中では、苦勞もあり、また、楽しいこともあります。が、発行したときの安堵感や達成感、充実感、また格別なものがあります。

これをご覧になり、興味を持たれた方は、お気軽に事務局までお声掛けください。

\*連絡先 副会長 都築 敏夫

☎042・972・2257

### 平成31年度・令和元年度 同窓会役員一覧

顧問	岩澤 正明(学校長)	田中 晃一(16回卒)
参与	町田多加次(4回卒)	高野伊九子(5回卒)
会長	本橋憲一郎(20回卒)	
副会長	澤田 清志(23回卒)	都築 敏夫(24回卒)
幹事	佐野 勇(34回卒)	豊田 美子(35回卒)
会計	新井 茂(22回卒)	若林 淳子(30回卒)
監事	原島 稔久(17回卒)	鯨井 暢(28回卒)
会報発行委員	永井つる子(20回卒)	市川 光男(24回卒)
	細田 宏子(28回卒)	嶋田 栄子(28回卒)
	相田 政康(49回卒)	
校内理事	大野 賢一(33回卒)	小澤 真帆(65回卒)

# 平成31年度・令和元年度学校の近況について



教頭  
矢島 得充

平成31年度・令和元年度がスタートし、現在、順調に教育活動が進められています。生徒は学習や行事、そして部活動に懸命に取り組んでいます。部活動では、ホッケー部が関東大会で準優勝し、12年連続でインターハイ出場（7月宮崎県で開催）を果たしました。また、弓道部、陸上競技部、そして卓球部は県大会出場常連となっております。後、上位大会に出場し活躍が期待される場所です。

さて、学習面に目を移すと、1年次の英語検定全員受験、2年次は英語の成績をもとにしたクラス編成と上位クラスの模擬試験全員受験など進学実績を向上させる取組を行っています。最近では、埼玉大学をはじめ国公立大学、早稲田大学や明治大学など難関私立大学に一般受験で合格する生徒も出てきています。就職については、地元商工会議所と連携し、銀行や企業の方から直接面接指導を行っている。ただ、就職希望者全員が就職先を決められました。現在、生徒一人一人の進路希望に対応できる教育課程を研究し、さらに進路実績が伸ばせるよう教育指導計画を検討しています。

今後開かれた学校として、地域の方々、同窓会の皆様のお力を育てる教育を進めていきたいと思っています。引き続き本校の教育にご理解・ご協力をいただければ幸いです。

## ◎主な学校行事

### 4月 入学式（8日）

244名の新入生を迎えました。

### 遠足（26日）

1年生では、横瀬町の小松沢レジャー農園でバーベキュー、2年生では、修学旅行に向けて羽田空港に集合し、グループで立てた計画を基に都内散策を行いました。

3年生では、東京デイズニールランドに行き、さらに親睦を深めました。

あいにくの天候ではあ



りましたが、どの学年も至る所で生き生きとした活動・様子が見られました。

### 5月 PTA総会（18日）

授業参観、各種委員会、講演会の後、総会が開催され、今年度のPTA活動がスタートしました。

### 6月 体育祭（6日）

思い思いに作成したクラス旗のもと団結し、熱戦を繰り広げ、最後の種目「クラス対抗リレー」で最高潮に達しました。総合優勝は3年5組でした。



## ◎部活動の主な記録

「6月中旬までの主な活動状況」  
ホッケー部  
関東大会準優勝。インターハイ（宮崎県）出場決定。



### 弓道部

県民総合体育大会兼高校弓道新人戦 男子個人第4位  
大宮氷川神社花しずめ祭奉納大会 男子個人第2位

### 陸上競技部

県大会  
男子競歩第9位、他多数出場

### 卓球部

関東大会県予選13年連続出場  
インターハイ県予選13年連続出場

### チアダンス部

J D C A全日本チアダンス選手権ジャズ部門第2位  
U S A ナショナルズ全日本チアリーディング・ダンス選手権高校生ジャズ部門第1位

### 演劇部

春季演劇発表会 上演

### 箏曲・吹奏楽部

第7回定期演奏会合同開催（3月）  
吹奏楽コンクールCの部出場

他に部活動や授業で地域の小学校等と交流を広げています。

## 平成31年度人事異動

### （退職）

教諭 上田 勝彦  
教諭 高橋 正郎  
教諭 高山由加里  
教諭 塩川 忠

### （転出）

教頭 榎本 龍治（狭山清陵高校）  
教諭 田代 朋子（所沢高校）  
教諭 大臺江里子（所沢西高校）  
教諭 加藤 和俊（松山女子高校）  
教諭 小林 康真（坂戸高校）  
教諭 川田 勇作（所沢西高校）  
教諭 高野 好晴（越生高校）  
教諭 宇田 敬子（富士見高校）  
教諭 松尾 好幸（飯能南高校）

### （転入）

教頭 矢島 得充（狭山清陵高校）  
事務室長 細谷 智子（所沢北高校）  
教諭 松丸 侑里（狭山経済高校）  
教諭 関 圭祐（所沢北高校）  
教諭 丸山 裕己（春日部高校）  
教諭 松澤めぐみ（ときがほり立見算）  
教諭 市村 幸司（飯能南高校）  
教諭 武藤 真澄（川越初雁高校）  
教諭 嶋田 茂樹（所沢商業高校）  
教諭 戸澤 和宏（ふじみ野高校）  
教諭 宮野 文子（川越女子高校）  
実習助手 太田 香里（越生高校）  
主事 齋藤 眞喜（所沢商業高校）

# 母校だより

## 剣道部

顧問 細野 二郎

飯能高校剣道部の紹介をさせていただきます。平成29年4月に私が飯能高校に来た年には新入部員は男子が1名入りました。実質活動は部員2名で行っていました。3年生引退後はひとりあるいは顧問とマンツーマンでの活動となりました。そのため出場できるのは個人戦だけでした。



平成30年度には男子4名、女子1名が加わり、男子は団体戦が組めるようになりました。そして、西部支部大会、インターハイ予選、西部支部新人大会、県新人大会に出場することができました。県新人大会においては翌年の関東大会県予選の出場権を獲得することができました。平成31年度は新入部員男子1名、女子5名が加わり、男子6名、女子6名となり、男女ともに団体戦が組めるようになりました。そのため今年度は西部支部大会、関東大会県予選に男女ともに団体戦に出場しており、チームとして手応えを感じています。ま

だまだ勝ち上がることはできていませんが練習試合や合同稽古も取り入れながら実力をつけていきたいと考えています。普段の稽古では基本動作を身につけ、相手との関係の中で「気剣体一致の打突」を出すことを心掛けています。今年度は初心者が入部を機会に木刀による剣道基本技稽古法や日本剣道形を行って行く予定です。また、飯能地区の大会においてはOBの方々から声をかけていただき、励みになっております。今後ともよろしくお願いいたします。

## 家庭科部

顧問 渡邊奈緒子

家庭科部は、3年生8名、2年生7名、1年生22名の計37名が所属しています。1年生が多く(男子生徒も)入部し、ますます活気が出てきています。主な活動内容は、お菓子作り、つるし雛制作等です。3年生を中心に、作りたいものを考え、材料の準備、計量を行っております。文化部のメインとなる文化祭では伝統となるパウンドケ



キを昨年度は5種類販売。2日間であつという間に完売してしまっています。文化祭販売に向けて、練習を重ね、お客様に提供するという気持ち大切に、ていねいに作ることを心がけています。その成果もあり、技術も向上しています。また、飯能市市民活動センターより飯能ひな飾り展の展示依頼があり、生徒がつるし雛のデザインを考え、手作りにしたつるし雛を飯能丸広店で展示させていただきます。昨年度は1年の四季をテーマとし、季節をモチーフとした飾りを展示。生徒も作品を発表できる良い機会となっております。私は、飯能高校に赴任して2年目となります。家庭科部は3年生を中心に自主的に活動しており、感心しました。家庭科部の活動を通し、お菓子作りも上手になり、自信を持って後輩に指導することができるようになり、成長がみられます。和やかな雰囲気です。生徒と他愛もない会話がでる時間でもあり、楽しい時間となっています。今年度の文化祭は新たな挑戦で、カップケーキを販売します。ぜひご期待ください。



# 通路を活用した「学習スペース」

教諭 大野 賢一

玄関を入り、事務室脇の階段を上ると正面に職員室の入り口があります。職員室に入る前、ふと、左側の通路に目をやると、難しい顔をした生徒と、寄り添う教員の姿が目に入ります。そこには長机とイスが左右に並び、傍らには、英和辞典や参考書、ホワイトボードが置いてあります。ここは2階西側通路です。しかし、職員室に近いこともあり、生徒が教科書を抱えて質問に来たとき、ここで補習などを行います。一昨年、蛍光灯も完備され、暗くなってからでもここで勉強できるようになりました。ここにやってくる生徒は、勉強が苦手な生徒が多く、中には、呼び出されて戦々恐々としながら来る生徒もいます。ここは、勉強以外にも、各種検定試験、模擬試験の申し込みも行われます。



一番賑わうのは、中間、期末テストの前です。先生方も、夕方遅くまで生徒に付き合っています。進路室付近の廊下にも、同じような学習スペースを設けている学校もあります。どの学校も様々な工夫をしているようです。

勉強中、ふと見上げると、ホッケー・女子バスケットボール・陸上・サッカー・野球など諸先輩が獲得した輝かしい表彰状が、額の中から後輩達を見守っています。



学年代表	石渡 詩織
6組	石渡 詩織 浅見 聡美
5組	福本麻莉香 田淵 公大
4組	鈴木 結和 金子 汐音
3組	吉野 凜 金子 天玲
2組	明時 華音 福田 日菜
1組	町田 拓矢 須賀 亮太

平成31年3月卒業（高校71回）された同窓生の中から、左記の方が理事となりましたので紹介いたします。

## 同窓会理事名簿追加 (第71回卒業生 同窓会理事)

## 編集後記

43号の編集において、たくさんの方々から原稿・思い出の写真をお寄せいただきまして心より感謝申し上げます。

編集会議で寄稿文・同窓生の方々のご活躍を知り、母校の歴史と伝統を感じ飯能高校の卒業生であることを誇りに思いました。

「松楓」を多くの方に読んでいただき同窓生の絆が深く強いものになっていくことを願います。

E・S

### 〔編集委員〕(◎編集委員長)

本橋憲一郎	若林 淳子
澤田 清志	市川 光男
都築 敏夫	細田 宏子
◎新野代里子	嶋田 栄子
佐野 勇	永井つる子
豊田 美子	梶田 政康
新井 茂	

### 会報「松楓」第43号

令和元年9月1日

編集・発行 同窓会

発行責任者 会長 本橋憲一郎

印刷 (株)文化新聞社

発行所 埼玉県飯能市

埼玉県立飯能高等学校内

飯能高等学校同窓会